

# 平成27年度 紀の川流域懇談会

## 平成27年の出水概要報告

---

近畿地方整備局

# 1. 過去の洪水からみた平成27年洪水

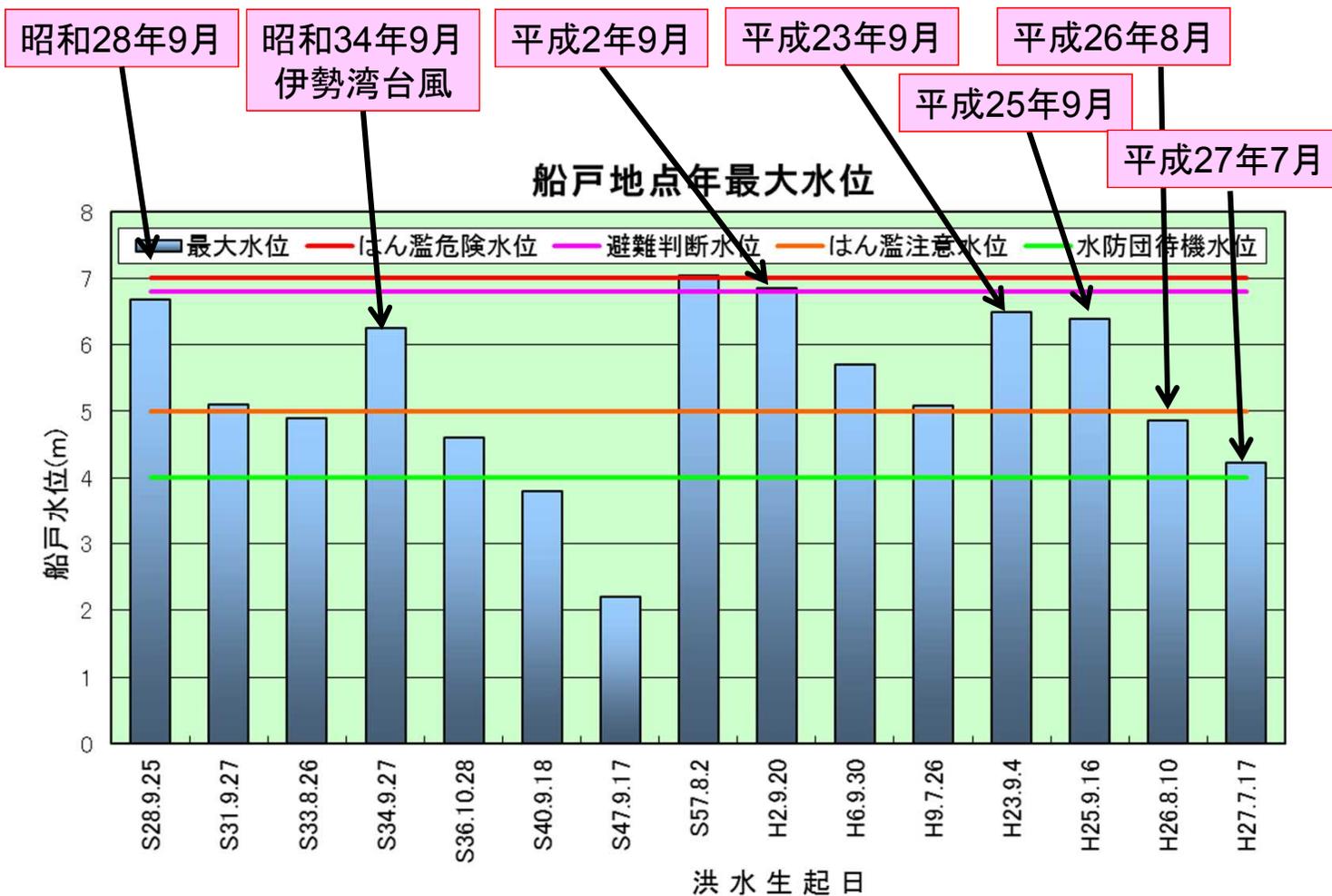


## 平成27年の洪水

- ・船戸地点観測水位でみると、平成27年は第13位。水防団待機水位を超過した。

主要洪水最高水位

洪水名	船戸	最高水位
昭和28年9月	25日24時	6.68m
昭和31年9月	27日15時	5.10m
昭和33年8月	26日 3時	4.90m
昭和34年9月	27日 3時	6.25m
昭和36年10月	28日14時	4.60m
昭和40年9月	18日 2時	3.80m
昭和47年9月	17日 4時	2.20m
昭和57年8月	2日 4時	7.04m
平成2年9月	20日 4時	6.86m
平成6年9月	30日 2時	5.70m
平成9年7月	26日22時	5.08m
平成23年9月	4日 4時	6.49m
平成25年9月	16日 10時	6.39m
平成26年8月	10日 15時	4.86m
平成27年7月	17日 8時	4.22m



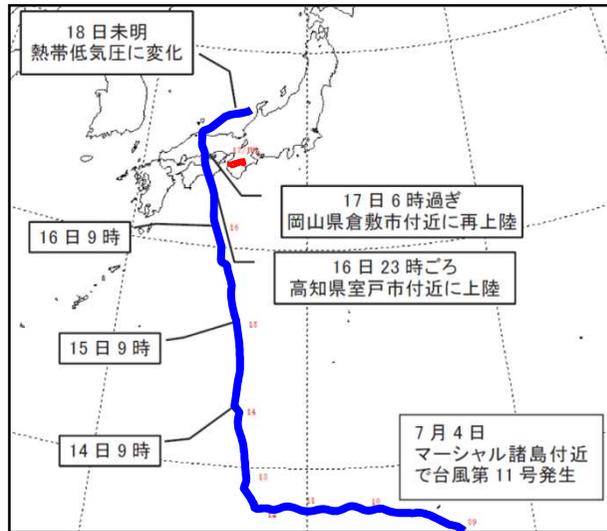
平成25年、平成26年、平成27年の水位は暫定値

# 2.1 平成27年7月台風11号の概要



## 台風11号の概要

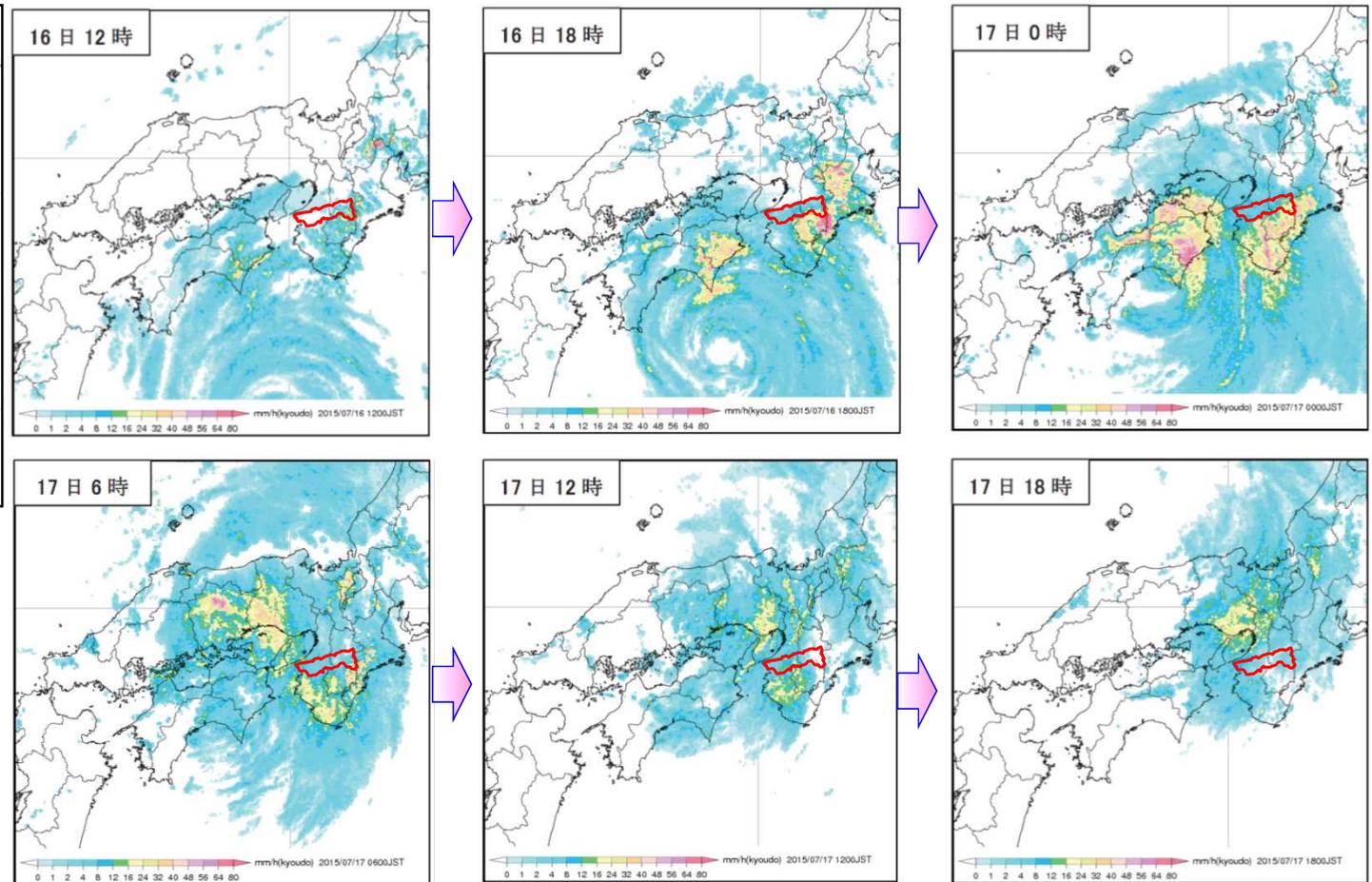
- ・大型で強い勢力のまま日本の南をゆっくりと北上し、16日23時ごろ高知県室戸市付近に上陸。
- ・台風を取り巻く雨雲や湿った空気が次々と流れ込んだため、四国地方や紀伊半島を中心に記録的な大雨。
- ・降り始めの7月15日13時から18日13時までの総雨量は、奈良県吉野郡上北山村で745.5mm、和歌山県東牟婁郡古座川町で690.5mmを観測。
- ・紀の川沿川では、五條市、紀の川市、かつらぎ町、橋本市で避難勧告。



台風経路図

紀の川流域：

降雨の時系列変化



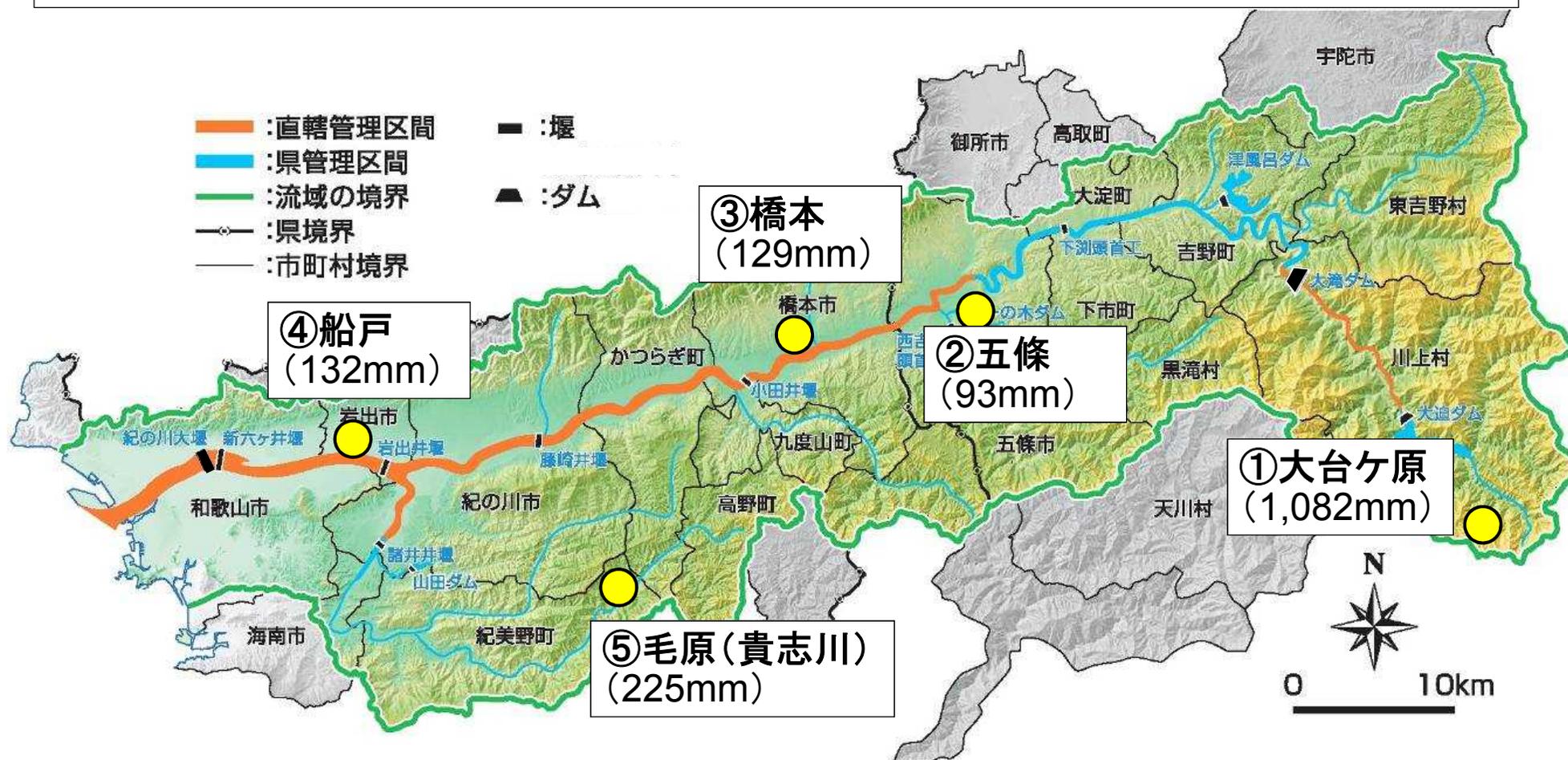
左下へ続く

## 2.2 平成27年7月台風11号による総雨量



### 平成27年7月台風11号降雨と平成23年台風12号降雨の比較(総雨量)

- ①大台ヶ原 1,082mm(H23T12:2,436mm) ②五條 93mm(H23T12:196mm)  
③橋本 129mm(H23T12:306mm) ④船戸 132mm(H23T12:188mm)  
⑤毛原(貴志川) 225mm(H23T12:535mm)



## 2.3 平成27年7月台風11号による水位状況



- ①船戸水位観測所 水防団待機水位超過 **4.22m**、ピーク時刻7/17 8:00  
(水防団待機水位 4.00m、はん濫注意水位 5.00m)
- ②三谷水位観測所 水防団待機水位超過 **3.23m**、ピーク時刻7/17 6:00  
(水防団待機水位 2.00m、はん濫注意水位 3.50m)
- ③五條水位観測所 水防団待機水位超過 **6.55m**、ピーク時刻7/17 5:20  
(水防団待機水位 5.00m、はん濫注意水位 7.50m)
- ④貴志水位観測所 水防団待機水位超過 **3.78m**、ピーク時刻7/17 14:10  
(水防団待機水位 2.50m、はん濫注意水位 4.50m)



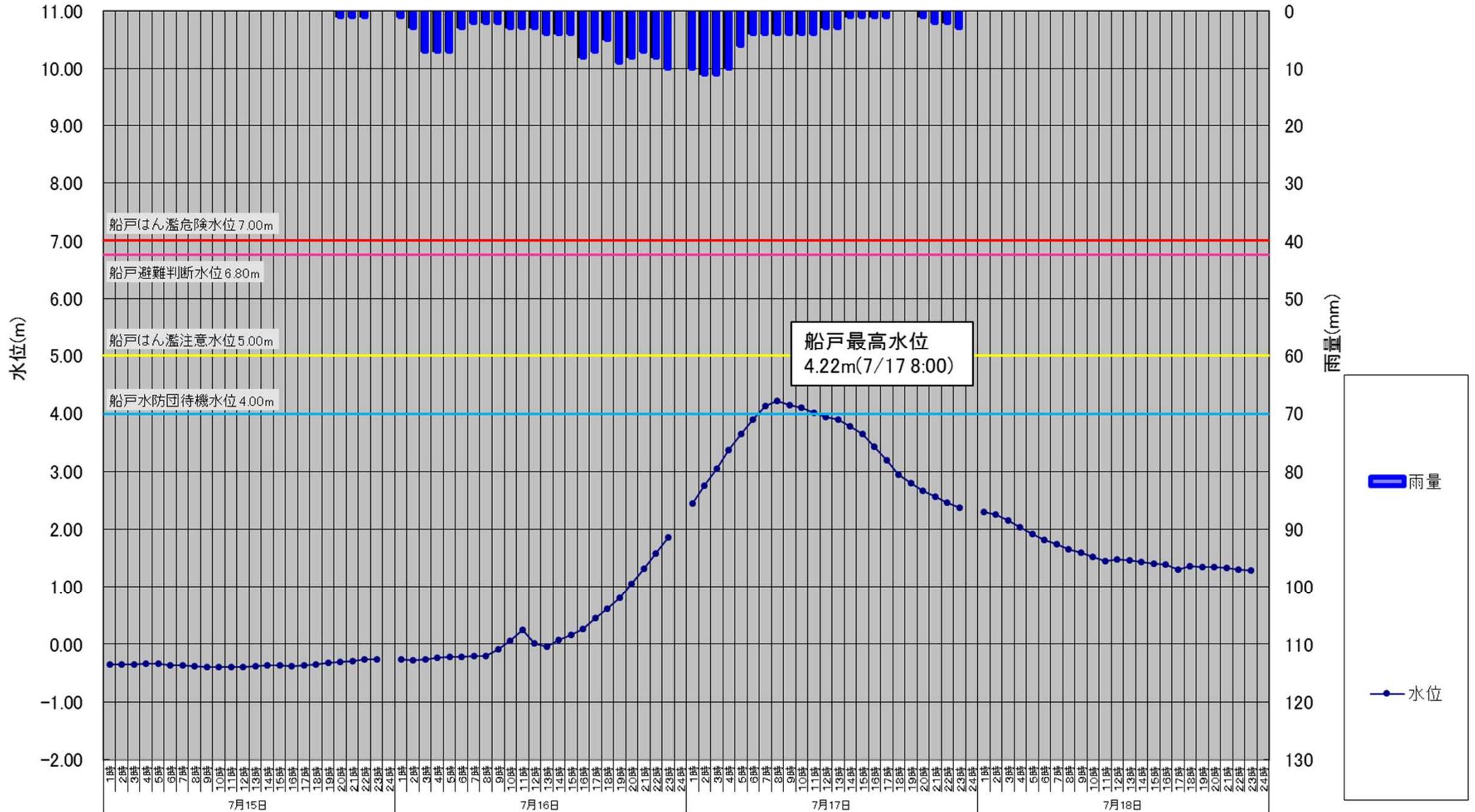
# 2.4 平成27年7月台風11号の出水概況 船戸



船戸観測所

## 出水概況図(紀の川)

紀の川流域平均雨量 総雨量 210ミリ  
時間雨量最大7月17日(2:00~3:00) 11ミリ



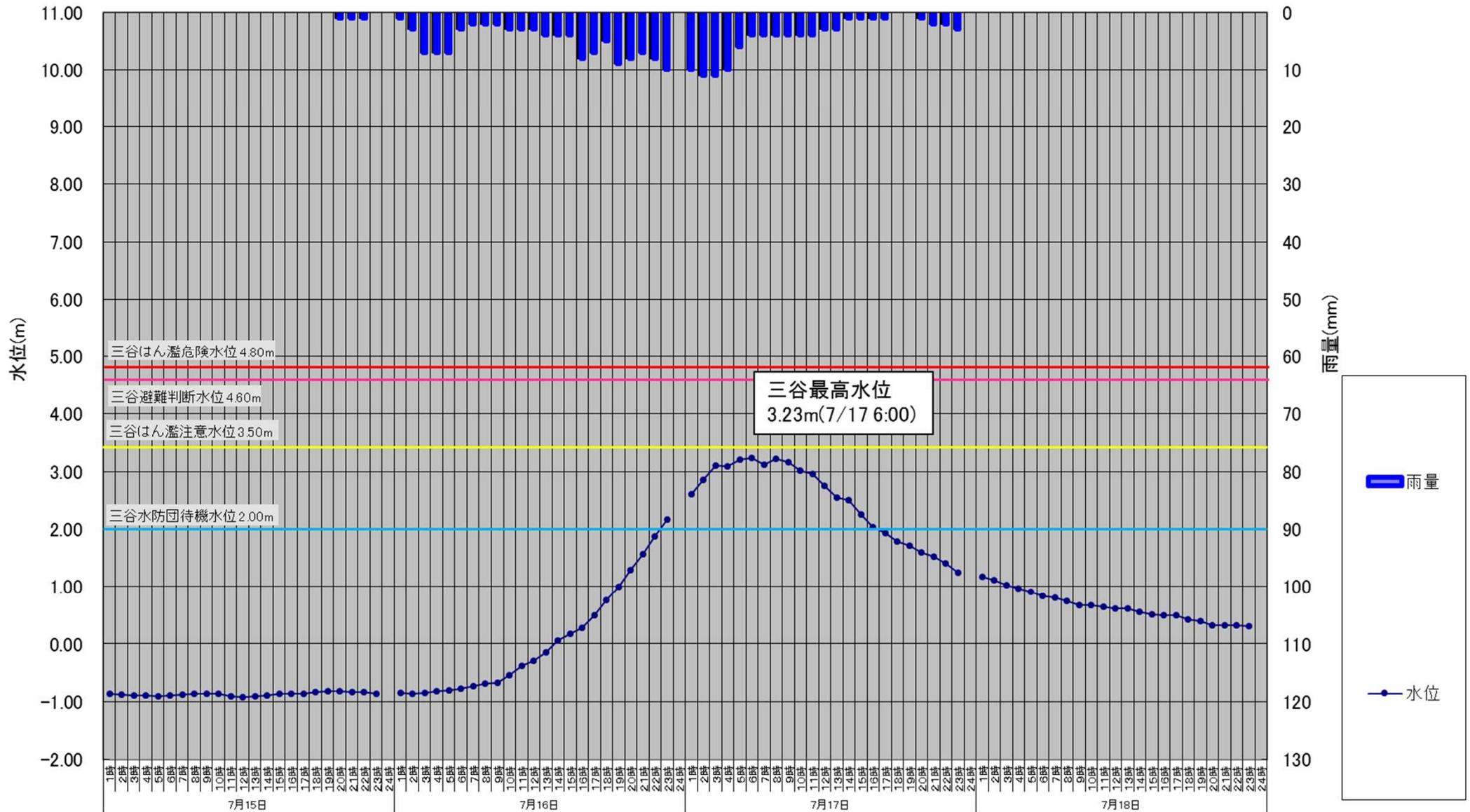
# 2.4 平成27年7月台風11号の出水概況 三谷



三谷観測所

## 出水概況図(紀の川)

紀の川流域平均雨量 総雨量 210ミリ  
時間雨量最大7月17日(2:00~3:00) 11ミリ



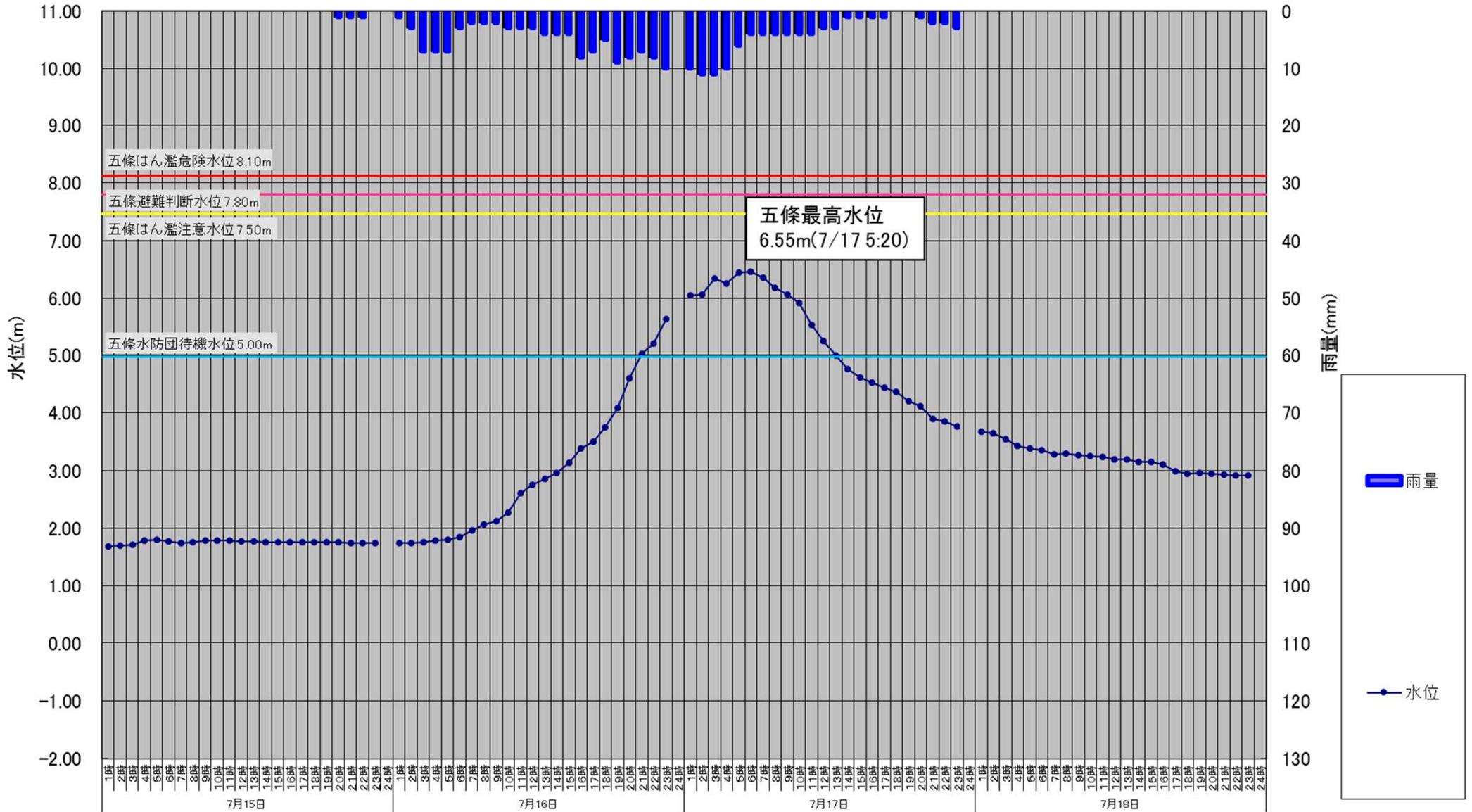
# 2.4 平成27年7月台風11号の出水概況 五條



五條観測所

## 出水概況図(紀の川)

紀の川流域平均雨量 総雨量 210ミリ  
時間雨量最大7月17日(2:00~3:00) 11ミリ



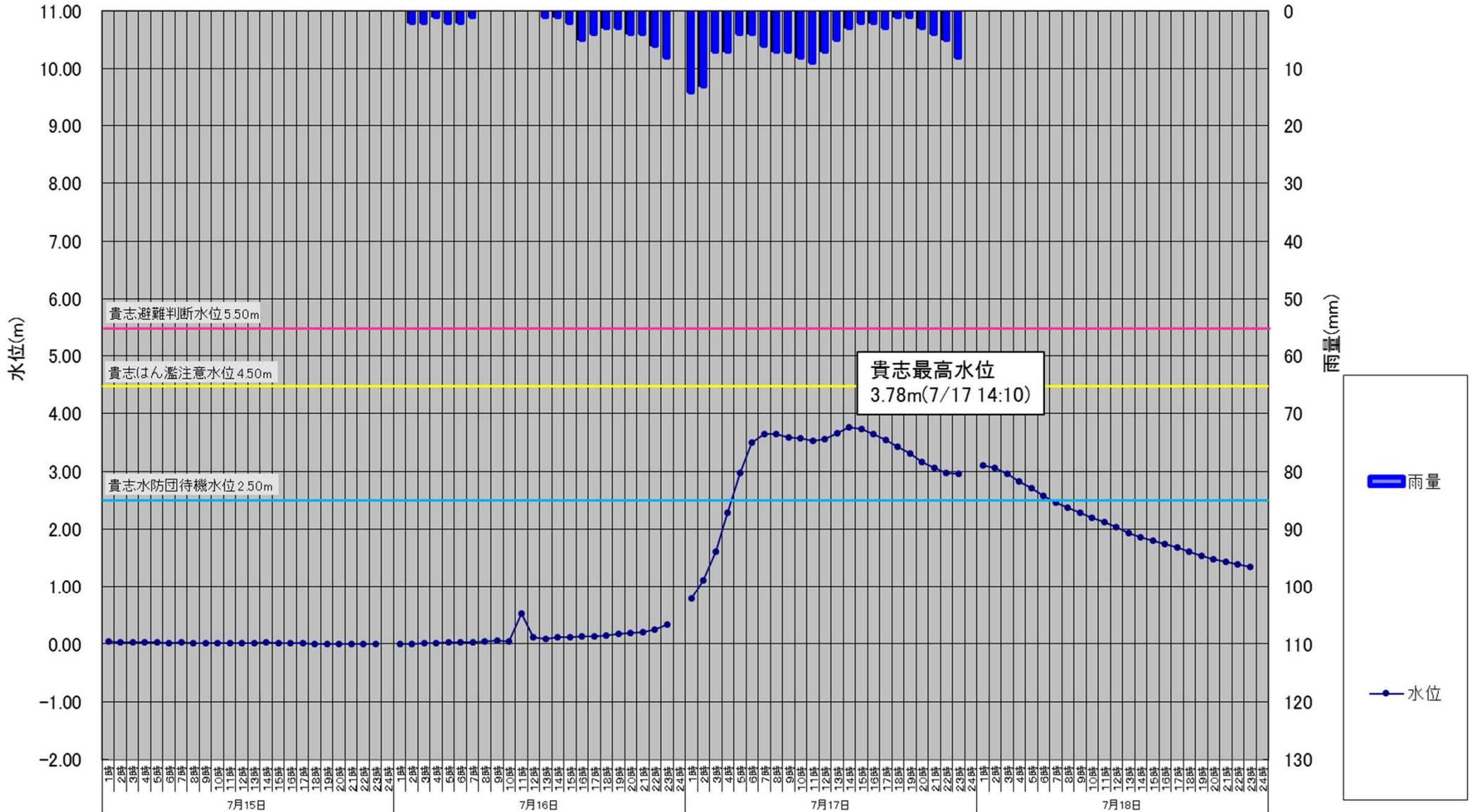
# 2.5 平成27年7月台風11号の出水概況 貴志



貴志観測所

## 出水概況図(貴志川)

貴志川流域平均雨量 総雨量 181ミリ  
時間雨量最大7月17日(0:00~1:00) 14ミリ



# 2.6 平成27年7月台風11号の状況



岩出頭首工



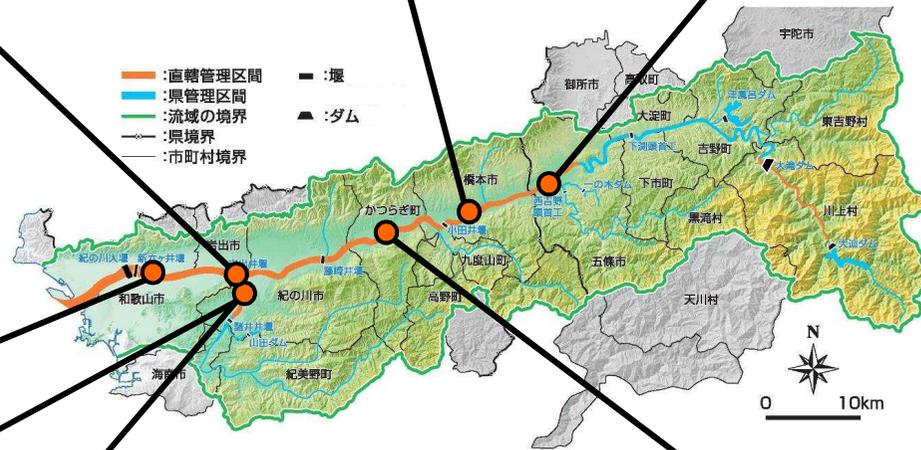
紀の川左岸(橋本市南馬場)



紀の川左岸(奈良県五條市二見)



紀の川右岸(和歌山市直川)



貴志川左岸(紀の川市貴志川町丸栖)



貴志川左岸(紀の川市貴志川町丸栖)



紀の川右岸(かつらぎ町折居)

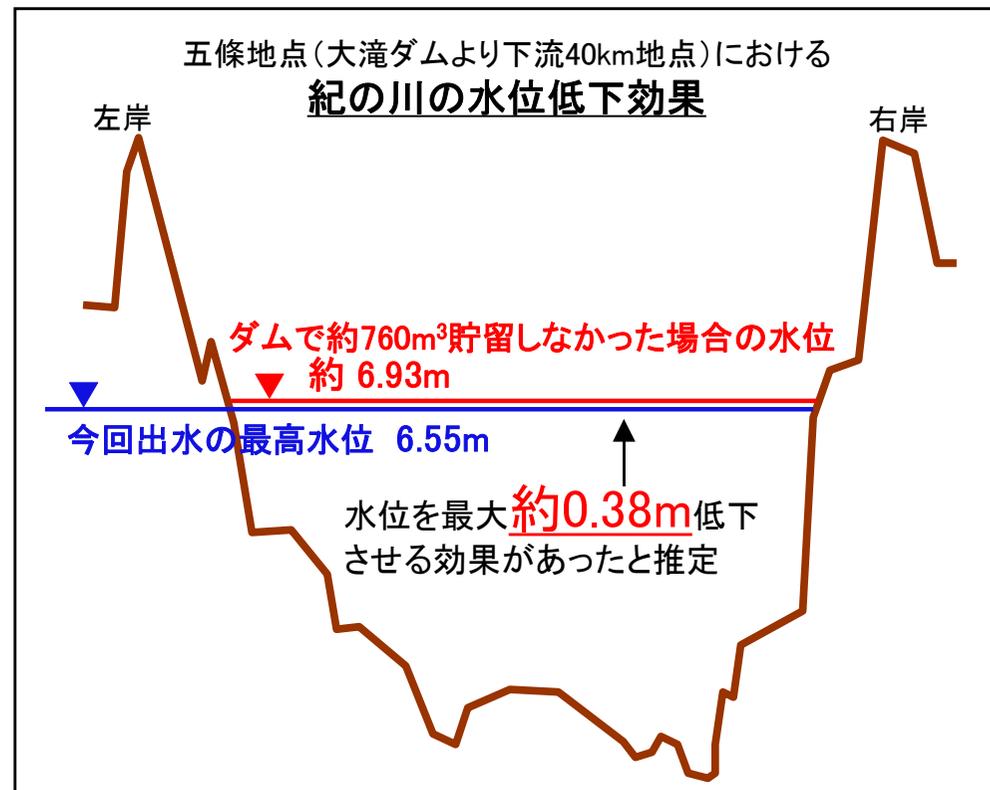
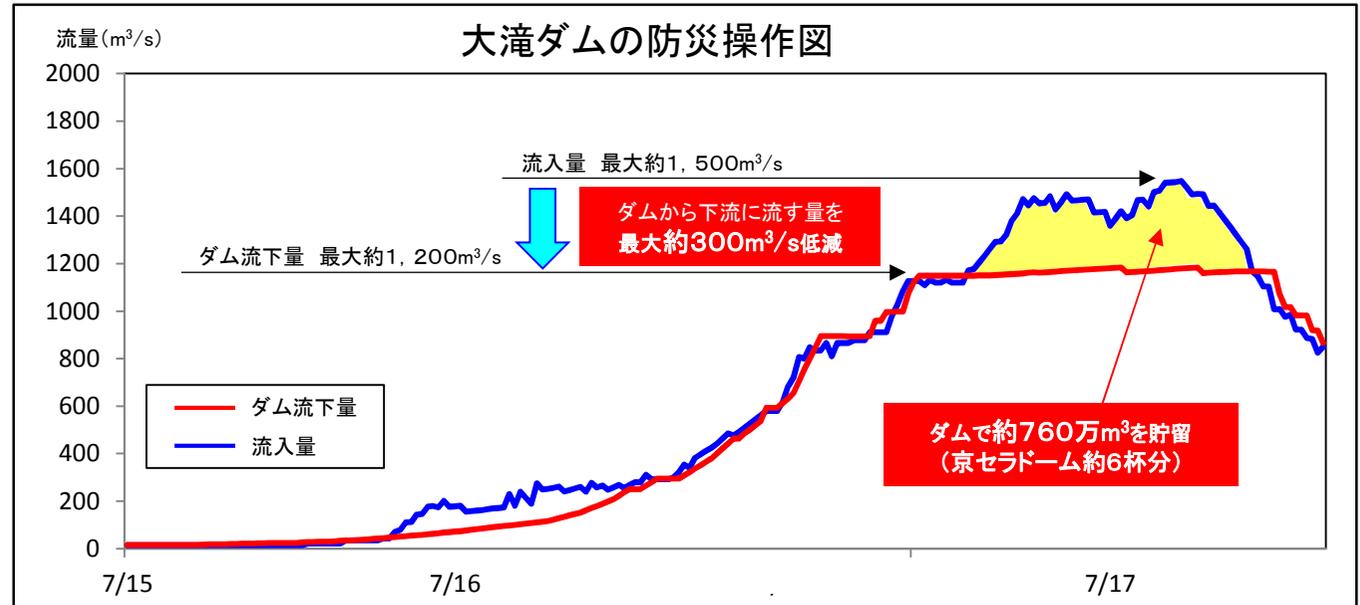


# 2.7 平成27年7月 台風11号による大滝ダムの効果



○紀の川水系大滝ダム上流域において、7月16日から17日にかけて、流域平均総雨量が498mm、時間最大雨量が49mm(大台ヶ原雨量観測所)となり、ダムへの流入量が約1,500m<sup>3</sup>/sに到達。

○大滝ダムでは、約760万m<sup>3</sup>の洪水を貯留し、ダム下流の五條地点(五條市新町付近)では、紀の川の水位を最大で約0.38m低下させる効果があったと推定。

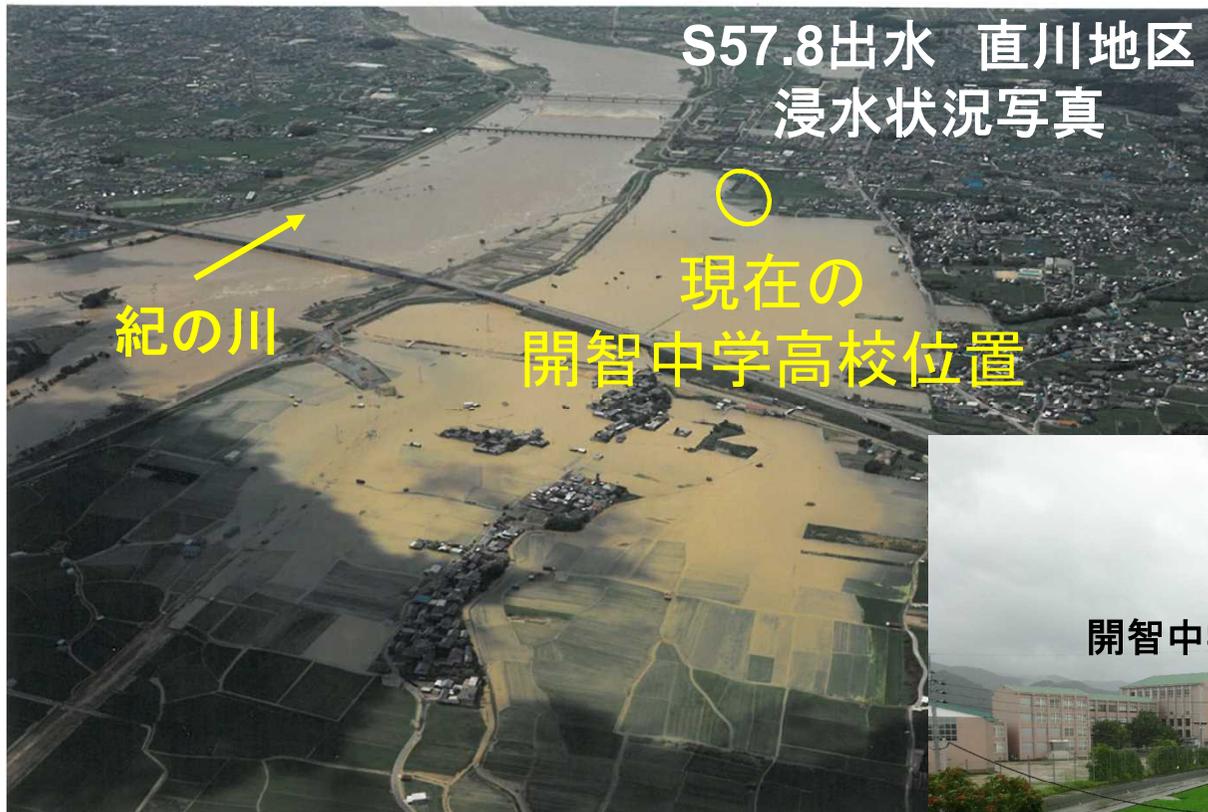


## 2.8 平成27年7月台風11号による紀の川大堰の効果



○昭和57年8月出水では直川地区に約170haの浸水被害が発生

○平成27年台風11号では、紀の川大堰により水位が常時満水位のT.P+3.6m以下に保持され、浸水被害が生じなかった。



平成27年台風11号の直川地区の状況(7/17)

# 2.9 平成27年7月台風11号による紀の川大堰の効果



○昭和57年8月出水当時は、紀の川大堰がなく浸水被害が発生した。

○平成27年台風11号では、紀の川大堰により水位が常時満水位T.P+3.6m以下に保持できたため浸水被害を発生を防げた。

H27.7月台風11号出水とS57.8月出水の比較(紀の川大堰地点)

